



過去の参加者インタビュー Vol.2

2019年度、2020年度
GYAO 参加者
近畿大学付属高等学校
坂口 悠さん



一般社団法人 大阪青年会議所
未来価値創造委員会
委員長 三原一馬



三原：実際に参加されてみて、実施期間など学業への影響はなかったですか。

坂口：そうですね。いろいろなことをしてみたいと思っていました。が、それを聞いて楽しそうだなと感じました。

三原：きつかけは高校2年生の時に、こういった事業が開催されるといってお知らせが学校に来たのを、先生が説明して下さって知りました。高校に入ったら

三原：GYAOに参加されたきっかけをおしえてください。

坂口：今でも連絡は取れるようになっていて、誕生日に連絡をくれたりする仲間です。

三原：GYAOをやるために学校の課題をいつもより早く終わらせたりするようになりました。

三原：自己紹介をお願い致します。

坂口：最初は、事業をチームで考えて発表するっていうことをあまりちゃんと認

三原：開校式から最後のビジネスコンテストまで参加を進めていくうちに、どういう意識の変化がありましたか。

坂口：最初は、事業をチームで考えて発表するっていうことをあまりちゃんと認

三原：GYAOを運営している大阪青年会議所メンバーのサポートはどうでしたか？

坂口：すごく楽しませていただきました。最初はチームの誰とも面識がなかったのですが、そこをサポートしてくださいました。

三原：もう一度チャンスがあれば、またGYAOに参加したいと思いませんか。

坂口：はい。私は2019年度が楽しくて、もう一回こういうことをしたいなと思って2020年度のGYAOにも参加しました。もっとプレゼンをしてみたいなと思ったので、オンラインでしたが参加しました。

三原：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

坂口：GYAOに参加しなければ関わることのできなかったような方々、また出会うことのなかった仲間と関わる機会ができて本当に良かったです。オンライン開催でもそれは変わりません。皆さん、決して損はないので是非参加してみてください！

三原：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

見学に行ったり話を聞くのがメインだと思っていたので、本格的にどういう事業を自分たちで考えるのかという時間が与えられたときに意欲的にいろんなことを考えないといけないとか、GYAOの実施日以外に集まれる機会が少ない中、各自で電話を繋いで事業の話をしたりしていたので、中盤くらいからはとても真剣に考えるようになりました。

三原：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

坂口：GYAOに参加しなければ関わることのできなかったような方々、また出会うことのなかった仲間と関わる機会ができて本当に良かったです。オンライン開催でもそれは変わりません。皆さん、決して損はないので是非参加してみてください！

三原：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

坂口：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

三原：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

坂口：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

三原：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

坂口：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

三原：今年参加を考えている高校生に一言お願いします。

